

これらのことから、平成18年11月に役場職員による「町立病院の在り方等に関する検討委員会」、12月に町議会議員による「医療・福祉等調査特別委員会」が設置され、協議を重ねています。

また、今年11月上旬には町政懇談会において検討状況を説明し、住民の皆さんからのご意見等もいただきました。

今後の選択肢

病院の経営形態の選択肢としては、病院として存続・新築又は大規模改修、診療所にする（新築で有床又は無床）という方法があります。病院とした場合は医師3名の配置が必要になり、診療所の場合は最大で病床が19床という規制があり、病床縮小に伴う入院患者の受け皿対策が必要となります。

受け皿としては、ケアハウスや生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）、医療機関併設型小規模老健施設、小規模多機能ホームなどがあります。詳しい検討は今後の病院の方向性が決まってからとなります。（4ページ参照）

これからの動き

北海道医療対策協議会による「自治体病院等広域化・連携構想」では、自治体病院30区域再編構想素案が出され、幌延町は稚内市への編成となっています。また、10月には道内38病院を診療所にする案も出され、幌延町立病院も豊富や天塩の国保病院と一緒に計画の中に組み込まれていました。

これらについては、強制力を持つて実施するものではなく、あくまでも構想案として提示されているもので、道民の意見などを募って最終決定となります。

町としても、この改正法による移行が平成23年度末までに完結していなければならないため、議会の特別委員会などの協議を重ね、幌延町の実情にあった病院経営の在り方について、年度内には最終決定する予定です。

町立病院事業会計決算状況等

損益計算書比較表

（単位：千円）

科 目	平成10年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
医 業 収 益	285,406	286,271	288,551	255,210
うち 入院収益	102,929	116,365	119,004	83,535
うち 外来収益	139,660	125,588	125,158	126,558
医 業 外 収 益	194,724	167,229	174,212	206,401
総 収 益	480,130	453,500	462,763	461,611
医 業 費 用	472,780	444,008	452,658	452,205
うち 給与費	216,881	207,085	206,479	203,743
うち 材料費	103,708	95,779	106,600	103,321
うち 経 費	136,827	126,520	119,832	122,909
医 業 外 費 用	7,350	9,492	10,105	9,406
総 費 用	480,130	453,500	462,763	461,611
差 引	0	0	0	0
一般会計繰出金	227,104	250,634	212,025	247,638

材料費：医療薬品費、医療材料費、給食材料費
経 費：出張医報酬、職員賃金、光熱水費、委託料など